

とよなか しがいこくじんしみんかいぎ

豊中市外国人市民会議

にゅーず れたー No.17

編集・発行：豊中市外国人市民会議事務局

◇ 第9期外国人市民会議が始まりました。◇

2021年7月から、第9期外国人市民会議が始まりました。

委員のみなさんは、日本での滞在年数や住んでいる理由、国籍も様々ですが、これまで豊中で暮らした経験に基づくアイデアを出し合っ、豊中に住む外国人の生活向上に少しでも役立つよう、2年間にわたり話し合いを進めていただく予定です。

「外国人にとって住みよいまち、日本人にとっても住みよいまち」という考えのもと、だれもがより住みやすい豊中になるように、8人の力を活かしていきたいと思ひます。



◇ 第9期委員 自己紹介 ◇

座長：片山 フィオナ (オーストラリア)



13歳から日本が好きになり、関西の高校と大学に一年ずつ留学しました。大学卒業後、日本に就職して、現在素敵な日本人の夫と、可愛い小学生の子ども2人と4人で暮らしています。とよなか国際交流センターで実施されている「親子で日本語」の子育てサークルにたくさん参られて来ました。私から豊中の多文化共生に貢献したくて、今まで小学校の外国語体験の講師や第7期外国人市民会議の委員になったことがあります。第9期の会議でよい報告ができるように、ベストを尽くしますので、よろしくお願い致します！



職務代理：フロール カラビア サンティアゴ（エクアドル）
 私はエクアドル出身で、エクアドル人とスペイン人のハーフです。小学校の頃から柔道をしていました。初めて来日したのは1992年で、今まで四国、九州、関東などで住んできました。豊中市に引っ越させていただいた日からは、環境のとても良い街という印象を受けました。これからも外国人と市民の皆さんにとっても暮らしやすい国際的な豊中市をつくる協力者になりたいと思っています。宜しくお願ひ致します。



アスマ スルタナ（バングラデシュ）
 バングラデシュから2008年に来ました。豊中に13年間住んでいます。バングラデシュのスタンフォード大学、修士課程で経営管理を学びました。文化プログラムやイベントの運営が好きです。とよなか国際交流センターで日本語を習いました。日本語をもっと勉強したいです。豊中市内の小学校で通訳の仕事をしていました。今は、ECCジュニアの英語の先生です。外国人市民会議の委員になれてとてもうれしいです。活動や会議で、他の外国人市民や日本人市民とつながること、考えを発表すること、新しい経験ができることは、私にとって大きなチャンスです。よろしくお願ひします。



アディカリ スザン バハデュル（ネパール）
 みなさん、ナマスカル！私はネパールから来日して19年目になりました。在留年数の半分以上は豊中市に住んでおります。これまで日本社会には留学生として、社会人として、親として、そして「ガイジン」として様々な経験をさせていただきました。豊中市は90か国の6,117人の外国人が暮らしている素晴らしいところです。しかしながら、異文化を体験出来る機会がまだまだ少ないと思います。豊中市では、いかに日本社会の一員として日本人のみならず他の国々の方々とも異文化交流できるかを模索していきたいと思っています。そのために、みなさんと接する機会を増やす事が重要で、相互理解を高める事によってより実るあるマルチカルチャラルな社会になるのではと思います。ご支援・ご協力のほど今後もどうぞよろしくお願ひいたします。



汪 穎（中国）
 大阪大学に在籍している留学生です。学校ではそもそも市民参加によるまちづくりについて研究しています。他方、国によって文化や習慣の違いが大きいので、普通では気づかないことも外国人にとって大きな障害になる可能性があります。なので、私は外国人市民会議で外国人市民による参加を体験しながら、一外国人として生活にある具体的な障害を市に伝えて行きたいと思っています。

こう ぎょくえい ちゅうごく
洪 玉英 (中国)



ちゅうごく ますこみ で 5 ねんかん を つと め、 にほん に りゅうがく に き ました。 いま、 ひょうご の 公益 団体 で 外国人 支援、 職業 訓練、 地域 づくり 支援 等の 仕事を 担当 しています。 にほん では、 とても 自然 豊かな 国 です。 いま、 外国人 労働 者 も 増えて きました。 わたし にほん が お互い の 違い を 認め、 支え 合い、 いかなる 差別 も 障 壁 も ない、 多様 性 と 調和 を 実現 した 未来 が 必ず 来ると 信じて います。 今後、 豊中市 の 一員 として、 誰でも 住み やすい 多文化 共生 の 街 づくり 事業 に 力 を 入れて いただき たい です。 よろしく お願い いたします。

たきもと くらうでいあ ぺるー
滝本 クラウディア (ペルー)



わたし の 名前 は 滝本 クラウディア です。 豊中 に 20 年 以上 住ん で います。 現在 栄養 士 を して おり、 これから 経験 を 活か して 豊中 で 生活 している 外国人 が 何を する べき か、 話し 合え たら と思 います。 よろしく お願い します。

りゅう こくそう ちゅうごく
劉 国相 (中国)



にほん に りゅうがく に 来て から 25 年 になりました。 徳島、 千葉、 神戸 に 住ん で いて、 9 年 前 に 豊中市 に 移住 しました。 情報 通信 研究 機構 の 脳 情報 通信 融合 研究 センター で 脳 の 研究 を して います。 仕事 場 では 学生 も 含め 外国人 が 大勢 いましたが、 コロナ の 影響 で その 人数 は 減 っています。 外国人 市民 会議 を 通して、 外国人 の 悩み、 思い などの 情報 を 提供 したい と思 います。

だい き がいこくじんしみんかいぎ ほうこくしょ
◇ 第8期外国人市民会議の報告書をまとめました ◇

2019 年 7 月 から スタート した、「第 8 期 外国人 市民 会議」が、約 2 年 を かけて 4 回 の 会議 を 行い、 終了 しました。

この 会議 の 中 で、委員 の 皆 さんが「住み 慣れた 地域 で 健康 に 暮らす ために」を テーマ に 話し 合い、 事務局 が 報告 書 として まとめ ました。そして、2021 年 5 月 28 日 に、委員 の 皆 さんが 長内 繁樹 豊中市 長 へ 会議 の 内容 を 説明 する 機会 を 持ち ました。新型 コロナ ウイルス 感染症 の 拡大 防止 の ために、委員 の 皆 様 には オンライン で 参加 して いただき、例年 とは 違っ た 報告 会 になりました。

この 外国人 市民 会議 で 出た 意見 について、可能な もの から 施策 に 反映 して いき たい と 考 えています。

◇ 第8期委員 感想（抜粋） ◇

【会議に参加した第8期委員の皆さんからの感想です。】

今後、外国人のみではなく豊中市民として他の人と触れ合う機会を多く作り、より異文化理解、相互理解に繋ぐ必要がある。

コロナ禍などで先の見えない不安があったが、オンラインの会議の中で委員の皆さんと時間を共有でき、安心感を得ることが出来ました。

他の委員からの意見のいくつかについては、自身が全く気付かなかったような視点で意見もあり、改めて多様性について気付かされました。

◇ 外国人市民会議の情報について ◇

【外国人市民会議の情報は、豊中市のホームページで見ることができます。】

○外国人市民会議の報告書、多言語の概要版はこちら

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/gaikoku/index.html



◇ 外国人のための相談窓口 ◇

【豊中市には、外国人市民のための外国語で話せる窓口があります。】

【外国人向け市政案内・相談窓口】〈豊中市役所第一庁舎5階〉

時間：平日10:00～17:00

言語：〔英語〕月・火・木・金曜日〔中国語〕水曜日

連絡先：06-6858-2730

※他の言語で話したい人は、1週間前までに電話してください。

【とよなか国際交流センターの多言語相談サービス】〈阪急豊中駅前「エトレ豊中」6階〉

時間：月・火・木・金・土曜日 11:00～16:00

言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、スペイン語、

ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語

連絡先：06-6843-4343

〈豊中市外国人市民会議事務局〉

〒560-8501 豊中市中桜塚3-1-1

豊中市 人権政策課 男女・多文化共生係

電話：06-6858-2654 FAX:06-6846-6003

メール：jkokusai@city.toyonaka.osaka.jp

ホームページ：https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/gaikoku/index.html

